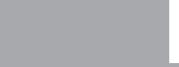


つなぎかたガイド

Aterm® WG1900HP

PA-WG1900HP

NEC

NWA-A04072-001-00
2017年1月

本書は、読んだあとも大切に保管してください。

ユーザーマニュアルはサポートデスクに掲載の「ユーザーマニュアル」を参照してください。(☞下記「本商品の取扱説明書について」)

★

本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

必ず「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」をご確認いただい

てから、本商品をご利用ください。

(☞裏面「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」)

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能が有効の場合、本機能が動作するため必要な情報を NEC プラットフォームズ株式会社が運用するサーバへ通知します。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を停止することができます。

このたびはAterm WG1900HPをご利用いただき、まことにありがとうございます。

Aterm WG1900HP(以下、本商品と呼びます。)は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠したWi-Fi(無線LAN)ホームルータです。

箱の中身をチェックしよう

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ WG1900HP 無線 LAN アクセスポイント

□ スタンド

<添付品>

□ AC アダプタ

□ ETHERNET ケーブル (カテゴリ5eストレート)

□ Wi-Fi 設定シート (シール)

□ つなぎかたガイド (本書)

□ 保証書 (本書に含む)

□ イーサネット

□ ACアダプタ接続コネクタ

□ WANポート

□ ブロードバンドモード

□ LANポート

□ フロントパネル

□ リアパネル

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を[ユーザーマニュアル]に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- ! 警 告**:人が死亡する、または重傷^(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
! 注 意:人が軽傷^(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願 い:本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷:失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院をするものとしています。
(※2) 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをしています。
(※3) 物的損害:家屋、家財および家具、ベットなどにかかる拡大損害をしています。



電源

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が 2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
● AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
● AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
● AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
● 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100V(50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
● AC アダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
● AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。

こんなときは

以下の場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c. d. e のような使いかたはしないでください。

- a. 煙が出ており、変なにおいがするなどの異常状態のとき
b. 電源コードが傷んだ状態(芯線の露出・断線など)のとき
c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

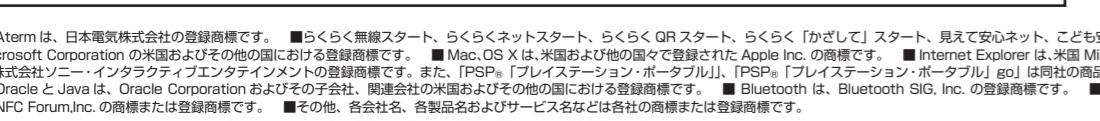
- d. 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものの、異物を差し込んだり落としたいたとき
e. 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
● 本商品を分解・改造しないでください。
● めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。
● 本商品の内部や周囲でエアダスター やダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
● 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。



! 注 意

設置場所

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0 ~ 40°C、湿度 10 ~ 90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きしないでください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないでください。次のような使いかたはしないでください。
 - <悪い例>
 - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛けける
 - 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
 - ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。
 - 狹い場所や壁などに近づけて設置しないでください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがあります。手で触れるができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどのことがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などをを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願 い

設置場所

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行なうため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であることを確認できます。

その他の問題が発生する可能性があります。

- 通常内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報をメールの内容等で盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、個人情報を取得し、不正な情報を出し(情報漏洩)
特定の人物にまで届けてしまう通信をす(なりすまし)
傍聴した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する(破壊)
- その他の可能性があります。
本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行なうことで、上記問題が発生する可能性が少くなります。
セキュリティ対策ほどござります。あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによっておこなった損害に対する責任を一切負いませんのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、Aterm 実行 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社(以下「当社」とします)が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合(例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など)を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「機能バージョンアップ」欄で該機能が開始されたと、本機能が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、從業員訓練の際に、ソフトウェアアップデートによる通信機能の変更等による影響を及ぼさない場合にのみ、本機能が実現される場合に、本機能が動作するため必要な小限度の機器情報・ネットワークの情報を当社で運用するサービスへ送信する機能です。本機能は、本商品の実現と本商品の本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的は利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続を経て適切な管理が実施します。

本機能は、工具出荷時に「OFF」になってしまいますが、本機能に関する許諾を行なった場合、危険がある可能性があります。

<無効にする方法>
① クリック設定 Web を起動する(「右記「クリック設定 Web の起動方法」)
② ホーム画面の「詳細項目を表示」→「詳細設定」→「[その他の設定]」を選択する
※ プリッジモードでご利用の場合は、ホーム画面の「[基本設定]」を選択します。
※ 中継機・子機としてご利用の場合は、ホーム画面の「[基本設定]」を選択します。
③ 「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にする
④ 「設定」をクリックする

電波に関する注意事項

● 本商品は技術基準適合証明を受けています。

● IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz 帯)、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法によって認められています。

● 5GHz 帯で使用するチャネルは、36.40/44.48ch(W52) と 52.56/60.48ch(W53) と 100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140ch(W56) です。従来の IEEE802.11a で使用の 34.38/42.46ch(J52) の装置と IEEE802.11a モードでの連携はできません。

● IEEE802.11a/n/ac
W52 (5.2GHz 帯/36.40/44.48ch)
W53 (5.3GHz 帯/52.56/60.48ch)
W56 (5.6GHz 帯/100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140ch)

● IEEE802.11b
W53 (5.2/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のようないくつかの規制事項があります。

● 各チャネルの通信開始前に、1 分前のレーダー波検出を行ないますので、その間は通信を行えません。

● 通信中にレーダー波検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

● IEEE802.11b (2.4GHz 帯) IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの製品・科学・医学機器のほか、他の無線局、工場の製造ラインなどで使用を要する移動体識別装置構内無線局、免許を不要な電力無線局(アマチュア無線局など) (以下「他の無線局」)と競争されています。

● 本商品を使用する前に、近くにある「他の無線局」が運用していないことを確認してください。

● 1 分前のレーダー波検出を行なった場合は、W52 (5.2GHz 帯/36.40/44.48ch)、W53 (5.3GHz 帯/52.56/60.48ch)、W56 (5.6GHz 帯/100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140ch) を選択した場合は、法令により次のようないくつかの規制事項があります。

● 各チャネルの通信開始前に、1 分前のレーダー波検出を行ないますので、その間は通信を行えません。

● 通信中にレーダー波検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

● IEEE802.11b (2.4GHz 帯) IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。

● Bluetooth 機器との競争はありません。

● IEEE802.11b (2.4GHz 帯) IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。

● IEEE802.11b (2.4GHz 帯) IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。